

引船使用基準（堺泉北区）

(1) 泉北の TUG 使用基準は、大阪区曳船使用基準に準ずる。

危険物積載船

36,000GT 未満 2 TUGS

36,000GT 以上 3 TUGS 相談の上

(2) 大阪ガス着離棧時のタグボート配備の目安

LNG 船は、P1505 参照

LPG 船は、36,000GT 未満 2TUGS

36,000GT 以上 3TUG 相談の上

(3) 堺 LNG 受入船型の曳船使用基準の目安

平均風速	船型		着棧	離棧	
8m/sec以下	モス型	15万m3級 未満	4隻(10,000kw[13,600PS])以上	3隻(7,700kw[10,500PS])以上	
		15万m3級			
		15万m3級 (さやえんどう)			
		17万m3級			
	マンブレン型	18万m3級 (さやりんご)			
		21万m3級 未満 21万m3級	4隻(10,000kw[13,600PS])以上	3隻(7,700kw[10,500PS])以上	
8m/sec超～ 10m/sec未満 (着棧:9.6m/sec未満)	モス型	15万m3級 未満	4隻(10,400kw[14,100PS])以上	4隻(10,400kw[14,100PS])以上	
		15万m3級	4隻(11,800kw[16,000PS])以上		
		15万m3級 (さやえんどう)	4隻(11,800kw[16,000PS])以上 ②(平均風速 8.8m/sec未満)		
		17万m3級			
	マンブレン型	18万m3級 (さやりんご)			
		21万m3級 未満 21万m3級	4隻(10,400kw[14,100PS])以上 4隻(11,800kw[16,000PS])以上	4隻(10,400kw[14,100PS])以上	
10m/sec以上～ 12m/sec以下	モス型	15万m3級 未満	浜寺航路入航前に入港着棧可否判断時において、次のすべての条件を満たす場合に限り着棧できるものとする。 ①風況の予測： 風速が、減衰傾向にあること、または一定の範囲の変動に止まること。 ②判断時の平均風速： 基準風速(平均風速8m/sec)の1.2倍(9.6m/sec)[17万m3級モス及び15万m3級(さやえんどう)は1.1倍(8.8m/sec)]の範囲内にあること。 ③船長、水先人、棧橋側(荷役統括管理責任者・パースマスター)の3者が安全に入港着棧可能と判断した場合に限る。	5隻(13,000kw[17,700PS])以上	
		15万m3級			
		15万m3級 (さやえんどう)			
		17万m3級			
	マンブレン型	18万m3級 (さやりんご)			
		21万m3級 未満 21万m3級			5隻(13,000kw[17,700PS])以上

- (4) コスモ石油棧橋（参考：コスモ石油(株) 堺製油所 大型原油タンカー船型大型化に伴う
航行安全対策調査 報告書（H25.5））

着棧船型を LOA340m 迄拡大した。

受入船

20 万 DWT 以上	着棧時	6 隻(3,400 馬力以上/隻)
	離棧時	4 隻(3,400 馬力以上/隻)
5 万 DWT 以上～ 20 万 DWT 未満	着棧時	3～4 隻(3,400 馬力以上/隻)
	離棧時	3～4 隻(3,400 馬力以上/隻)
5 万 DWT 未満	着棧時	2 隻(3,400 馬力以上/隻)
	離棧時	2 隻(3,400 馬力以上/隻)

出荷船

5 万 DWT 以上～ 20 万 DWT 未満	着棧時	3～4 隻(3,400 馬力以上/隻)
	離棧時	3～4 隻(3,400 馬力以上/隻)
5 万 DWT 未満	着棧時	2 隻(3,400 馬力以上/隻)
	離棧時	2 隻(3,400 馬力以上/隻)

(表注) 但し、12m/sec を超える風速の場合は水先人等と協議し、
必要に応じてタグ支援力を増強する。

- (5) ENEOS（24 万 DW トンタンカー）

入港、出港時とも、(4) コスモ石油棧橋のタグ使用基準に準ずる（平成 29 年 8 月航行安全報告書）

入港時 6TUGS（3,400 馬力/隻）

出港時 4TUGS（3,400 馬力/隻）